




くおんだより 11 かつ No1


もう、11月のおたよりを書くことになり、運動会までも早い!と感じていたけれど、終わってからの日々の流れの早かったこと  この勢いで過ぎていくのかな〜 子どもたちは1日1日充実しているから、大人のバタバタが 浮きぼりになります。


今年もあと2ヶ月、子どもの軽やかさは、なく、気づかりあせります。




11日予定




2日(水) 子どもの健康診断 (和田小児科、院長先生)  13時より  当日、受けこななかった時は、後日、行かれました。下さい。


10日(木) おべんとうの日  お世話になります。

 労災看護専門学校 給食研修会に行きます。実習終了、4月より続いてました実習、今年度は終了です。

 今年も、年長さんのいも煮会はずです。園児はうどん作りをします。

26日・保育参観・育児講座  カレーパティは中止します。   後日、お手紙します。

28日(月) 御命日  親鸞さまの  命日です。  11/28に亡くなりました。

30日(木) 誕生会 

下の文章は、毎月出しています「真宗保育」の冊子の中に、出してありますサカエさんと佐賀枝先生の文です。ゆったりした気持ちで読んで下さい。



はじめに

表題からは「幼児向けのおはなし」のようですが、この冊子は子育てをされている親ごさんに読んでほしいという願いを込めて書いたものです。また、ご自分の人生を尋ねたいと考えていらっしゃる方へお届けできたらという願いとおもひがあります。

この冊子は、「ふたつの物語」のストーリーからはじまります、このささやかな贈りものから、生きる勇気とココロの支えになればと願っています。



子猫が教えてくれた物語

夕暮れどき、しずかちゃんはおうちへの帰り道を歩いていました。すると、生まれて間もない子猫が道端で息も絶えそうにうずくまっているのを見ました。しずかちゃんは、帰りを急いでいたので通りすぎようとしたのですが、なぜか通りすぎることができませんでした。子猫を見守るうちに時間がどんどん過ぎていきます。すっかり暗くなった道端で、子猫はしずかちゃんのあたたかい両手に包まれて、精一杯、一息一息呼吸をしています。しかし、だんだん、息が弱くなり、静かな息をしながら眠ってしまいました。

しずかちゃんは子猫の最後の一息を見守ることにしようと、手のひらにやさしく子猫を抱いておうちに帰りました。子猫がコンクリートの道端で彷徨いながら生きてきた「あかし」でしょうか。子猫のからだは泥とホコリでコテコテに汚れていました。しずかちゃんは、あたたかいお風呂でからだを洗ってあげ、そっと最後を見送ろうと見守りました。



そのあと・・・

しずかちゃんの甲斐甲斐しいお世話のおかげで、子猫は徐々に元気になりました。この子猫は、しずかちゃんに会い「いのち」をつなぐことができたのです。

子猫と子どもの出会いは、よくあるお話かもしれませんが、その後、しずかちゃんに育てられた子猫は、みんなからも大切にされておおきく育ち、ひとなつこく、出会うひとを癒し、やさしい猫になりました。そして・・・、やさしいお母さん猫になりました。

少女と子猫の何げない物語ですが、自然に流れていく時を感じます。子猫のいのちをつなぐご縁、本当によくある話かもしれませんが、ゆったりした思いになります。子育ても、あーだこーだと答えを求めるとは、自然にいのちとのかかわりのように感じます。

11月の土曜1日希望保育は、12日・19日です。

